※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　地理歴史科

科目	大阪の歴史Ｂ	単位数	1
使用教科書	大阪の教科書：ビジュアル入門編　（創元社）		
副教材等	なし		
レポート	３通		
必要出席回数	１回		
テスト	あり		

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- レポート(前期３通)…教科書の精読で作成することが可能です
- スクーリング(２回実施中１回)…学習内容の理解を深めるため、可能なら出席２回をめざそう
- テスト…レポート内容から出題

２　学習の到達目標

①　大阪の歴史の変遷を学習書・副読本、資料等で確認し、現在の大阪の形成過程を理解する。
②　過去の歴史を学ぶことから、私たち自身の地元に対する郷土愛を持てるようにする。
③　大阪の歴史的事件・人物・文化を、先入観にとらわれることなく各種資料等から読み解く。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○時系列理解を中心に教科書を精読し、歴史知識を整理しようとしている。 ○スクーリング資料および講義内容を理解し、インターネット等を使った資料検索および活用法を獲得している。 ○資料を基にしたレポートを作成し、資料活用の技能を向上させようとしている。	○教科書本文およびレポートでは取り扱わない箇所も含めて読むことで、大阪の歴史的推移への認識を深め、コメントを書くことができる。 ○レポート作成において、歴史の知識や認識を確認することができる。	○各範囲の学習計画に合わせてレポート作成に取り組み、提出期限を守りながら意欲的に学習をすすめようとしている。 ○スクーリング講義で様々な観点の提示や資料読解を通して、生徒自身の既知の歴史認識を補強･修正しようとする。また、各範囲に意欲的に出席しようとする。

- 後期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動：表中の観点 (a)知識・技能 (b)思考・判断・表現 (c)主体的に学習に取り組む態度

単元名		学習内容（時代）		単元（題材）の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
後期	近世②	⓫江戸時代前期 ⓬江戸時代文化史① ⓭江戸時代文化史② ⓮江戸時代天保年間 ⓯幕末維新期 大阪災害 大阪スポーツ	R４ ⓫⓬ ⓭⓮	a. 経済都市の繁栄と町人活動および幕政衰退の理解 b. 町人主導の都市繁栄の理解 c. 計画的課題作成と面接参加	レポート・テスト	レポート・テスト	レポート・スクーリング・課題
	近代 現代	⓰明治時代① ⓱明治時代② ⓲大正・昭和初期 ⓳昭和(占領期) ⓴昭和(大阪万博) 大阪企業 大阪フード	R５ ⓯⓰⓱ R６ ⓲⓳⓴	a. 都市計画の変化～大大阪の繁栄および戦中・戦後の発展の理解 b. 工業化から大阪万博の理解 c. 計画的課題作成と面接参加	レポート・テスト	レポート・テスト	レポート・スクーリング・課題

４　評価基準

	A	B	C
(a)知識・技能	全問正解	正解多数	空欄あり・誤答多数
(b)思考・判断・表現	全問正解	概ね正解	空欄あり・誤答多数
(c)主体的に学習に取り組む態度	目標前の提出 内容充足・課題提出	目標後・期限前の提出 内容十分	期限後の提出 内容不十分